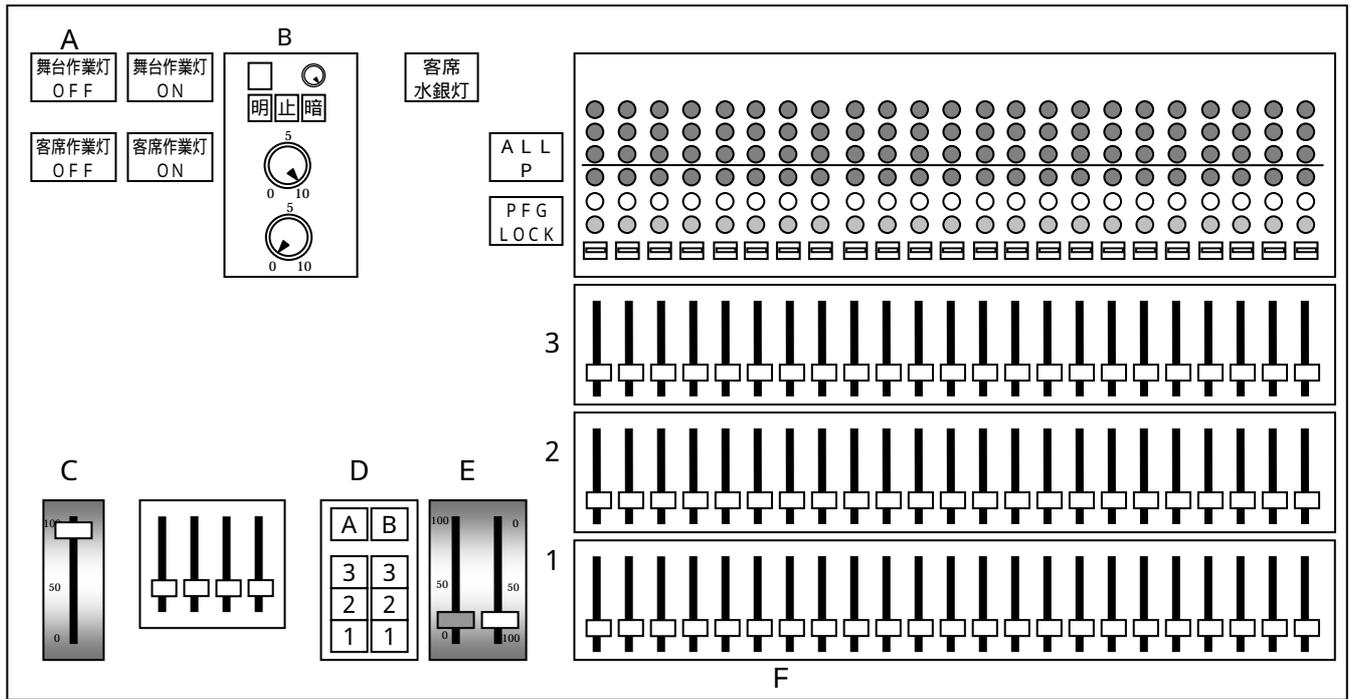
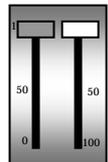


さいたま市青少年宇宙科学館青少年ホール 照明・音響ブース 調光卓



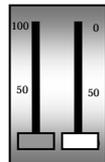
- A 舞台作業灯 ON / OFF
リハーサル、大道具の建て込みなどの際は ON にする。
照明効果が欲しいときには必ず OFF にすること。
- B 客席の照明（客電）の調整
右上の赤いダイヤル（0～10の目盛り）で客電 ON / OFF のタイミングを調節する。目盛りが大きいほど早く、目盛りが小さいほどゆっくり ON / OFF になる。
赤いダイヤルでタイミングを設定した後、「明」ボタンで自動的に客電フェードイン、「暗」ボタンで自動的に客電フェードアウト、「止」ボタンでフェードイン/アウトの途中で一時停止。
黄色の「上限」ダイヤルは、客電の最終的な明るさを設定する。
青色の「下限」ダイヤルは、客電の最終的な暗さを設定する。
- C マスター・フェーダー（MF）
全ての照明機器の明るさを設定する。
調光時には、必ず上に上げて「目盛り100」にしておくこと。
- E クロスフェーダー
AとB、2つの回路を切り替える。左のAフェーダー（赤いつまみ）と右のBフェーダー（白いつまみ）は、それぞれ ON / OFF の位置が逆になっている。二本を同時に上げ下げすることで、AがON、BがOFFの状態から、AがOFF、BがONの状態へ切り替えることができる。
回路Aに第1場の照明を設定し、回路Bに第2場の照明を設定しておき、クロスフェーダーを操作すれば、第1場の照明からスムーズに第2場の照明に変化させられる。
暗転させるときには、AとBを同時に0にすればよい。

あらかじめ、
回路Aには第1場
を設定
回路Bには第2場
を設定しておく。



A Bの切り換え

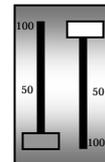
AをON
にして
第1場の
照明
A : 100
B : 0



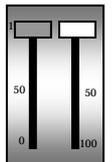
BをON
にして
第2場の
照明
A : 0
B : 100



第2場の間に、
第3場の照明
をAに設定し
ておく。



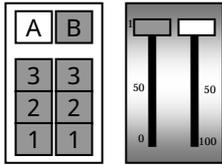
暗転
A : 0
B : 0



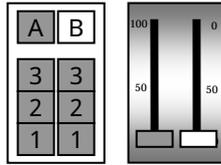
再びAを
ONにし
て第3場
の照明
A : 100
B : 0

D 系統設定

AとBのそれぞれに、系統1～3の照明を設定できる。

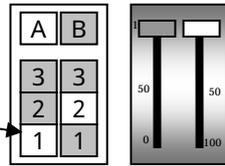


回路AがON(100)になっていると[A]ランプが点灯。

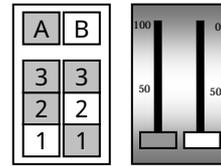
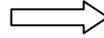


回路BがON(100)になっていると[B]ランプが点灯。

Aの[1]ボタンを押して、
Aを系統1に設定する。
Bの[2]ボタンを押して、
Bを系統2に設定する。



回路AをONにする。
この状態で、舞台には系統1
の照明ができています。



回路BをONにする。
この状態で、舞台には系統2
の照明ができています。

F 調光フェーダー1～3

1～3の各系統の調光は、Fのフェーダーで行う。

最下段から順に系統1、系統2、系統3の調光フェーダーが並んでいる。

各段には下記の1～40の回路があり、3段のフェーダーは全て機能が同じで系統が異なるだけ。

- 1～8 サス1
- 9～16 サス2
- 17～20 天井反射板
- 21～24 シーリング
- 25～28 フロント
- 29～32 ボーダー
- 33～36 アッパー水平
- 37～40 ロワー水平

Dで設定した系統に、Fの調光フェーダーで照明を作り込んでおき、Eのクロスフェーダーで切り替える。